

# 萩市企業景況調査

## DI方式

《調査機関》

萩商工会議所

2019年10月～12月期 実績

2020年1月～3月期 予測

### DI(ディフュージョン・インデックス)方式とは?

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI=(増加・好転など「良い」の回答割合)  
 - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)  
 ※設備投資は割合(%)

## 駆け込み需要の反動減が続く。

### 景況の概要

2020年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率93%)

**生産・売上** 前期比は製造業・サービス業・観光関連業が増加、建設業・卸売業・小売業は減少となった(平均▲5.4%)。前年同期比では全業種で減少となった(平均▲53.6%)。今後(1～3月期)の見通しでは、建設業が増加、小売業が横ばい、それ以外の業種は減少すると予測(平均▲28.6%)。

**収益** 前期比は、製造業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲17.9%)。前年同期比は、全業種で減少となった(平均▲55.4%)。今後(1～3月期)の見通しでは、建設業が増加すると予測し、それ以外の業種は減少と予測(平均▲32.7%)。

**資金繰り** 前期比は、建設業が横ばい、それ以外の業種は悪化(平均▲12.7%)。今後(1～3月期)の見通しでは、小売業が横ばい、それ以外の業種は悪化と予測(平均▲21.8%)。

**従業員数** 製造業の横ばいを除く全業種が人員不足という結果になった(平均28.6%)。

**経営上の問題点** ①需要の停滞 36.4% ②人材の確保難 30.9% ③設備・店舗の老朽化 7.3%の順となった。

**今後の業界動向** 各業界の景気見通しは、全業種とも停滞と予測。特に製造業が▲66.7%と停滞指数が大きい。

**景況に関する生の声** ■建築物の省エネルギー対策が今後強化される予定(住宅建築)。■魚不足が深刻(海産物加工)。■気候の変化により仕入価格が上昇している(特産品製造)。■駆け込み需要の反動による売上減が長引いている(大型店)。■観光客が非常に少ない(印刷業、飲食業、旅館)。■高額品の売上が減少している(専門品店)。■暖冬のため灯油の売れ行きが悪い(燃料販売)。■求人を募集しても面接希望がない(大型店、水産卸)。

項目 / 業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均	
生産・売上	前期比	▲30.0	22.2	▲22.2	▲33.3	11.1	20.0	▲5.4	28.1	28.1
	前年同期比	▲80.0	▲33.3	▲44.4	▲44.4	▲22.2	▲90.0	▲53.6	▲22.8	0.0
	2020年1月～3月期見通し	10.0	▲44.4	▲44.4	0.0	▲44.4	▲50.0	▲28.6	▲40.4	▲40.4
収益	前期比	▲30.0	0.0	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲10.0	▲17.9	17.5	19.3
	前年同期比	▲60.0	▲66.7	▲33.3	▲44.4	▲33.3	▲90.0	▲55.4	▲19.3	7.0
	2020年1月～3月期見通し	10.0	▲66.7	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲32.7	▲38.6	▲36.8
資金繰り	前期比	0.0	▲11.1	▲11.1	▲12.5	▲11.1	▲30.0	▲12.7	▲12.5	0.0
	2020年1月～3月期見通し	▲10.0	▲44.4	▲22.2	0.0	▲22.2	▲30.0	▲21.8	▲21.4	▲22.8
従業員数	2019年12月末	30.0	0.0	44.4	44.4	44.4	10.0	28.6	38.6	38.6
設備投資	(実績)	40.0	33.3	11.1	44.4	0.0	10.0	23.2	24.6	28.1
	(計画)	10.0	22.2	11.1	22.2	0.0	20.0	14.5	32.1	22.8
業界動向	▲40.0	▲66.7	▲33.3	▲44.4	▲55.6	▲60.0	▲50.0	▲47.4	▲35.1	